

○ ステークホルダーの皆様とのコミュニケーション

ブリヂストングループは、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを通じて、ブリヂストングループやその取り組みに対する理解を促進すると共に、皆様からの意見や評価、期待などを広く収集し事業活動に活かすことで、持続的成長に向けた継続的改善を行っています。

主なステークホルダー	主な課題/Key topics	主な対話の活用と方法・機会
お客様	<ul style="list-style-type: none"> 魅力的な商品・サービスの開発 迅速な対応・サポート 適切な情報提供 お客様情報の適正な管理 	<ul style="list-style-type: none"> ■当社活動の認知拡大、共創機会の創出 ■お客様の声を製品・サービスの改善に反映 <ul style="list-style-type: none"> お客様相談室でのお問い合わせ対応 Bridgestone Innovation Park、Bridgestone Innovation Gallery Webサイト、SNSでの情報発信やイベント、展示会への出展 市場調査、顧客満足度調査
株主様・投資家様	<ul style="list-style-type: none"> 適時・適切な情報開示 企業価値の最大化 	<ul style="list-style-type: none"> ■対話を重視したIR活動や適時・適切な情報開示 ■経営やIR活動への株主・投資家の視点・ご意見反映 <ul style="list-style-type: none"> 「定時株主総会」の開催 「決算説明会」の開催、中期事業計画(2021-2023)進捗報告 投資家とのスモールミーティング、個別面談、ESGに関するダイアログ 「2030年 長期戦略アスピレーション(実現したい姿)」の策定、説明会開催
お取引先様	<ul style="list-style-type: none"> 公平・公正な取引 「グローバルサステナブル調達ポリシー」の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ■サステナブル調達の実現に向けた対話と相互理解の促進 ■現場環境の改善に向けた対話と働きかけ ■小規模農家との対話・教育によるキャパシティビルディング、収量収入向上支援 <ul style="list-style-type: none"> 日々の調達活動 「調達方針説明会」及び持続可能な調達のためのセミナーの開催 「グローバルサステナブル調達ポリシー」の展開
従業員	<ul style="list-style-type: none"> 人権の尊重 多様な働き方を含めた多様性の促進 人財の育成・活用 安全衛生・健康経営の推進 労使の相互理解促進 	<ul style="list-style-type: none"> ■従業員との相互理解を通じたエンゲージメント向上 ■調査結果の客観的な分析と対話に基づく職場環境改善に向けたアクションプランの策定・実施 <ul style="list-style-type: none"> 従業員エンゲージメントサーベイ 人事評価制度、キャリア&ディベロップメント面談 労使協議会 社内報やイントラネットでの情報発信・共有 経営者と従業員の対話集会 「ブリヂストングループアワード」他功績表彰制度
地域社会・NGO	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会への貢献活動 地域環境の保全 事業所地域での支援活動 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域社会に寄り添った課題把握と解決支援および信頼醸成 <ul style="list-style-type: none"> 災害救助、復興支援、寄付や社会貢献活動 環境、安全啓発活動 地域イベントの主催、協力、工場見学会など NGOとの対話、連携
官公庁 業界団体 教育機関	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全なモビリティ社会の発展に貢献する 教育活動の支援 業界の経済影響調査やサプライチェーン評価への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ■業界標準の策定に向けた推進・支援 ■社会、業界動向を踏まえたポリシー・ガイドラインの改訂 <ul style="list-style-type: none"> 業界団体：持続可能な開発のための世界経済人会議(WBCSD)傘下のタイヤ産業プロジェクト(TIP)及び「持続可能な天然ゴムのためのプラットフォーム」(GPSNR)など、サステナビリティ・環境関連のグローバルイニシアティブへの参画 産官学連携のための対話・調整・支援 各国政府担当者との対話

ステークホルダーの皆様とのコミュニケーション

活動事例

》 CES 2023: 持続可能なモビリティのビジョンを発表

CESはテクノロジー分野の市場を席巻する企業が集う世界有数の展示会であり、当社グループは2023年に本展示会に出展しました。モビリティソリューションを通じて、より持続可能な未来を創造するという当社ビジョンを来場者の皆様と共有し、将来に向けた共創機会の創出に繋がりました。

持続可能なモビリティを実現するには、タイヤ及びゴム製品の製造、使用段階から、メンテナンスや使用済タイヤのリサイクルに至るまで、製品のライフサイクルにおける各段階で適切なプロセスとツールを検討する必要があります。会場では未来のカーボンニュートラルな輸送を見据えたタイヤのライフサイクル全体を通じた当社独自のビジネスモデルの考え方や、車両管理のデモンストレーションを体験いただきました。

展示会全体を通じて、現在のビジネスパートナーやお客様、今後パートナーやお客様になりうる方々と対面し、当社のサステナブルソリューションを通じた事業ニーズへの対応や、持続可能なモビリティの未来に向けた連携など、社会価値・顧客価値の両立を実現していくための議論に繋げることができました。当社グループは未来のモビリティを率いていくために、共有・連携・学習・共創を続けていきます。



》 業界組織との積極的な連携

当社は、タイヤ業界が環境や社会に与える影響を重視し、業界全体が抱える課題への対応レベルを高めていくために知見の構築や業界標準の策定において主導的な役割を果たしています。



Thomas J. Higgins

Global Chief Business Strategic Officer, Bridgestone Corporation

ブリヂストンは、タイヤ業界におけるサステナビリティに関する課題への理解を深め、取り組みを強化するために、地域およびグローバルな業界団体活動やプロジェクトに積極的に参画しています。当社は米国タイヤ製造者協会 (USTMA)、欧州ゴム・タイヤ製造協会 (ETRMA)、日本自動車タイヤ協会 (JATMA)、持続可能な開発のための世界経済人会議 (WBCSD) 傘下のタイヤ産業プロジェクト (TIP) など、さまざまな組織で業界のリーダーとして取り組みを主導しており、業界が社会に及ぼすポジティブな影響を効果的・効率的に高めていくために、業界と連携しながら課題解決に向けて共に取り組んでいます。また、当社はタイヤの持続可能性と安全性を向上させるために、業界および規制当局の取り組みを継続的に支援しています。たとえば、ブリヂストンは現在、車両走行中のタイヤに起因する粒子の発生を減らすために、タイヤ摩耗を測定するための国際的な試験方法の策定に協力しています。

》対話を重視したIR活動や適時・適切な情報開示

当社グループは、ビジョン「2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社」の実現に向け、サステナビリティを経営の中核に据えた中長期事業戦略の実行を進めており、定期的に中長期事業計画の進捗を四半期毎の決算説明会等で報告しています。アナリスト・投資家との対話を通じて得たさまざまな示唆を経営戦略やIR活動に活用し、当社とアナリスト・投資家の相互信頼関係を構築することが大切であると捉えています。

当社においては、経営戦略、事業活動、企業文化とサステナビリティの統合を推進する「Gサステナビリティ統括部門」に加え、2022年に「IR 財務サステナビリティ報告企画課」を設置し、サステナビリティ課題への考え方や当社が社会やお客様と共に持続的に成長していくための経営戦略について機関投資家との対話を深めています。

2022年6月には当社としては初の統合報告書を発行し、サステナビリティとビジネスを両立させる当社独自の価値創造ス

トーリーを通して、適時・適切な情報開示を推進したことにより、ESG投資の視点にとどまらず、当社グループがサステナブルなソリューションカンパニーとして成長していく上での機関投資家視点での要請や期待についての意見交換を行うことができました。当社の持続的成長の確からしさを示すストーリー発信が求められていることを受け、事業戦略とサステナビリティのつながりの中で進化し続ける当社独自のビジネスモデルについての情報発信をさらに強化しています。

機関投資家からの要請や期待については、経営や取締役会へのフィードバックを行い、将来に向けた価値創造に結び付けていくための議論や実際の事業活動に繋げています。

個別投資家との打合せにおいてもIR活動の改善への評価、そして今後への期待が寄せられています。継続的な改善が、こうして社外からも客観的な評価を得られたことは、変化に対応できる“強い”ブリヂストンへの進化が進んでいることの証と捉えています。

サステナビリティ分野の外部評価

当社グループのサステナビリティに向けた取り組みは、社外から高い評価を受けています。

- 「Dow Jones Sustainability World Index」
構成銘柄に選定されました。
- 「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」
13年連続で構成銘柄に選定されました。
- 「FTSE4Good Index Series」
5年連続で構成銘柄に選定されました。
- MSCI
「AA」評価を獲得しました。
- CDP
積極的な環境情報の開示を行い、以下の評価を獲得しました。
 - CDP 気候変動:A-
 - CDP 水セキュリティ:A-
 - CDP サプライヤー・エンゲージメント:A-

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**
Powered by the S&P Global CSA

